

- 問1 ヨーロッパ諸国の工業において、航空宇宙工業が経済に与えている影響について述べた次の文のうち、正しいものはどれですか。なお、対象とする4カ国（フランス、ドイツ、イギリス、スペイン）の貿易収支に注目して答えてください。（2019年 兵庫公立入試 類似）
1. いずれの国も航空宇宙工業の輸出額が輸入額を上回っており、域外への製品供給が盛んに行われている。
  2. アメリカから機体の大半を輸入しているため、フランス以外の国は輸入超過の状態にある。
  3. EU域内での取引が中心であるため、輸出入額と輸入額はどの国もほぼ一致し、収支はゼロに近い。
  4. スペインやイギリスでは国内需要を賅うための輸入が先行し、貿易収支は慢性的な赤字となっている。
- 
- 問2 イタリアなどの地中海沿岸地域に関する統計において、他の地域に比べて「樹園地」の占める割合が高いという特徴があります。この地域で、夏の乾燥に強いオリーブやブドウ、オレンジなどの樹木作物を中心に栽培する農業の名称として正しいものを選びなさい。（2026年 兵庫公立入試 類似）
1. 地中海式農業
  2. 混合農業
  3. 酪農
  4. プランテーション
- 
- 問3 ヨーロッパ連合（EU）の多くの加盟国で導入されている、経済統合を象徴する共通通貨の名称として適切なものはどれですか。（2026年 山口公立入試 類似）
1. 円
  2. 米ドル
  3. 英ポンド
  4. ユーロ
- 
- 問4 イタリアなどの地中海沿岸部では、10月から11月にかけて種をまき、冬を越して翌年6月に収穫する「小麦」の栽培が盛んに行われています。この地域で、夏の時期を避けて冬から春にかけて小麦を栽培する理由として最も適切な説明はどれですか。（2022年 熊本県公立入試 類似）
1. 夏の時期は雨が極端に少なく乾燥するため、比較的雨が得られる冬の間に成長させ、本格的な乾燥期前に収穫するため。
  2. 夏の時期は非常に気温が低く小麦の成長に適さないため、比較的温暖な冬の期間を利用して栽培するため。
  3. 夏の時期は降水量が多すぎて洪水が発生しやすいため、その被害を避けるために冬から春にかけて栽培するため。
  4. 夏の時期は日照時間が極端に短く光合成が十分にできないため、太陽高度が変化する冬の時期を選択して栽培するため。
- 
- 問5 世界の諸地域に関する統計において、人口増加率が約1.05%と低水準である一方で、一人あたりの二酸化炭素排出量が約10.3トンと多く、日本からの輸入額も大きいという特徴を持つ地域はどこですか。（2022年 秋田県公立入試 類似）
1. ヨーロッパ州
  2. アフリカ州
  3. アジア州
  4. 南アメリカ州
- 
- 問6 各国の電源構成において、発電量全体に占める割合がフランスでは原子力が約七割弱と最も多く、日本では火力が約七割弱と最も多くなっているという統計があります。このようなフランスと日本の電源構成の特徴を正しく説明しているものはどれですか。（2025年 京都公立入試 類似）
1. フランスは原子力発電を主力としているが、日本は石炭や天然ガスなどを用いる火力発電を主力としている。
  2. フランスは水力発電が電源の約七割を占めるが、日本は原子力発電を最も主要なエネルギー源としている。
  3. フランスは火力発電を主な電源としているが、日本はアルプス山脈のような地形を活かした水力発電が中心である。
  4. フランスと日本はともに、太陽光や風力などの再生可能エネルギーが発電量の七割以上を占めている。
- 
- 問7 フィンランドのヘルシンキ国際空港は、日本を含む東アジアとヨーロッパを結ぶ航空路線の拠点（ハブ空港）として高く評価されています。この空港がハブ空港として大きな利点を持っている地理的な理由として、適切なものはどれですか。（2023年 福井公立入試 類似）
1. 高緯度に位置しているため、東アジアとヨーロッパを結ぶ最短ルートの経路上にあるから
  2. ヨーロッパ大陸の南端に位置し、アフリカ各地への乗り継ぎが最も容易だから
  3. 広大な平原に位置しており、世界で最も多くの滑走路を保有しているから
  4. 時差が全くない地域に位置しており、航空ダイヤの調整が不要だから
- 
- 問8 北半球の地中海沿岸部に見られる、夏季の気温が高く降水量が著しく少ない一方で、冬季には一定の降水がある気候について、その気候の特徴と農業の関係を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2023年 東京都公立入試 類似）
1. 夏季の乾燥に耐えられるよう、皮が厚く根が深く張るオリーブやぶどうなどの果樹栽培が盛んに行われている。
  2. 夏の強い日差しと湿潤な気候を利用して、成長に大量の水を必要とする稲作が平野部を中心に発展している。
  3. 暖流と偏西風の影響で夏が冷涼となるため、寒さに強い小麦やジャガイモの栽培、および酪農が組み合わされている。
  4. 一年を通して降水量が平均しており気温の変化も小さいため、熱帯原産のカカオや天然ゴムのプランテーションが作られている。
- 
- 問9 ロシアのシベリア地方から極東にかけての広大な地域に分布する「タイガ」と呼ばれる景観について、その特徴を説明した文として最も適切なものを次から選びなさい。（2020年 千葉県公立入試 類似）
1. 冬の寒さが厳しい冷帯（亜寒帯）の気候に適応した、マツやモミなどの針葉樹林が広がっている。
  2. 北極海沿岸に位置する非常に寒い地域で、夏の間だけわずかにコケ類や草が生える。
  3. ウラル山脈よりも西側の温暖な地域において、落葉広葉樹と針葉樹が混ざり合って分布している。
  4. 降水量が極めて少ない乾燥帯に属しており、樹木がほとんど育たない広大な草原となっている。
- 
- 問10 ヨーロッパの都市景観や生活習慣に見られる特徴のうち、キリスト教の影響を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2014年 和歌山公立入試 類似）
1. 多くの街の中心部に教会や大聖堂が位置し、それらを中心として都市が形成されている。
  2. 1日に5回、聖地に向かって礼拝を行うための時間が社会全体で確保されている。
  3. 牛を神聖な動物として大切にするため、牛肉を食べる習慣が厳しく制限されている。
  4. 生まれ持った身分によって職業や結婚が制限される制度が、社会の仕組みとして残っている。
- 
- 問11 ヨーロッパの諸地域について述べた次の文のうち、言語の分類と主な使用地域の組み合わせとして適切なものはどれですか。なお、言語グループは「ゲルマン系」「スラブ系」「ラテン系」の3つに分類した統計資料に基づいています。（2022年 和歌山公立入試 類似）
1. フランスやイタリア、スペインなどで話されている、ラテン系言語のグループ
  2. イギリスやドイツ、オランダなどで話されている、スラブ系言語のグループ
  3. ロシアやポーランド、チェコなどで話されている、ラテン系言語のグループ
  4. ノルウェーやスウェーデン、デンマークなどで話されている、スラブ系言語のグループ
- 
- 問12 ヨーロッパの多くの国がEU（ヨーロッパ連合）に加盟したことで、域内の社会生活にはどのような変化が生じたか。人々の移動と国境のあり方の観点から、最も適切な説明を選びなさい。（2022年 和歌山公立入試 類似）
1. 域内の国境をパスポートなしで自由に通過できるようになり、国を越えた通勤や通学が容易になった。
  2. 国境ごとの検問が厳格化されたため、人々の移動には多大な時間と費用がかかるようになった。
  3. 共通通貨ユーロを使用している国に限り、国境付近での居住や就業が法的に禁止された。
  4. 関税が廃止されたことで物流が優先され、個人の旅行者が国境を越えることは制限されるようになった。
- 
- 問13 ヨーロッパ南部の地中海沿岸地域では、夏に乾燥し、冬に一定の降水がある気候条件を活かした農業が行われています。夏の乾燥に強いオリーブやぶどうなどの果樹を栽培し、冬の降水を利用して小麦を栽培するこの農業形態を何といいますか。（2019年 沖縄公立入試 類似）
1. 地中海式農業
  2. 混合農業
  3. 酪農
  4. 移牧

## 答え合わせ・解説

問1	答え 1 いずれの国も航空宇宙工業の輸出額が輸入額を上回っており、域外への製品供給が盛んに行われている。	航空宇宙工業は、付加価値が非常に高い高度な知識集約型産業です。ヨーロッパではエアバス社などの国際共同事業が成功しており、主要各国がそれぞれ競争力の高い部品や完成体を生産しています。統計的に見ても、フランス（輸出約533億ドル・輸入約337億ドル）を筆頭に、ドイツ、イギリス、スペインのすべてで輸出が輸入を上回る構造になっており、世界市場に向けた有力な外貨獲得手段となっています。
問2	答え 1 地中海式農業	ヨーロッパ南部の地中海沿岸では、温帯の中でも夏に雨が極端に少なく、乾燥するという独特の気候（地中海性気候）が見られます。この気候に適応するため、葉が小さく厚いオリーブや、根を深く張るブドウなどの樹木作物を栽培する農業が発達しました。これを地中海式農業と呼びます。混合農業は家畜の飼育と穀物栽培を組み合わせたもので主に西欧・中欧で見られ、酪農は北欧やアルプス地方で盛んです。
問3	答え 4 ユーロ	ヨーロッパ連合（EU）は、域内での経済活動を活発にするために市場の統合を進めており、その一環として共通通貨であるユーロを導入しました。これにより、国境を越えた商取引において両替の手間や為替リスクが解消されるというメリットがあります。イギリスのポンドのように、EU加盟国（または旧加盟国）であっても独自の通貨を維持している場合もありますが、共通通貨としてはユーロが正解です。
問4	答え 1 夏の時期は雨が極端に少なく乾燥するため、比較的雨が得られる冬の間に成長させ、本格的な乾燥期を前に収穫するため。	イタリアなどが属する地中海性気候の最大の特徴は、「夏季に雨が少なく乾燥し、冬季に一定の降雨がある」という点です。主食となる小麦は、乾燥に強い性質はありますが、成長には一定の水分が必要です。そのため、雨が降る冬の間に成長させ、完全に乾燥してしまう夏が来る前に収穫するという合理的なサイクルが成立しています。一方で、夏には乾燥に強いオリーブやブドウなどの樹木作物の栽培が行われます。
問5	答え 1 ヨーロッパ州	先進国が多く集まる地域では、生活水準の向上や社会保障の充実を背景に少子高齢化が進み、人口増加率が低くなる傾向があります。同時に、高度に工業化された社会を維持するために多くのエネルギーを消費するため、開発途上地域と比較して一人あたりの二酸化炭素排出量が多くなるのが特徴です。
問6	答え 1 フランスは原子力発電を主力としているが、日本は石炭や天然ガスなどを用いる火力発電を主力としている。	フランスは世界的に見ても原子力発電の割合が非常に高い国であり、統計では約68.3%に達しています。一方、日本は火力発電の割合が約68.7%と最も高く、原子力発電は約6.7%、水力発電は約8.5%にとどまっています。国によって資源の有無や政策方針が異なるため、電源構成には大きな違いが見られます。
問7	答え 1 高緯度に位置しているため、東アジアとヨーロッパを結ぶ最短ルートの経路上にあるから	地球儀上で東アジアとヨーロッパを直線で結ぶ最短距離（大圏航路）を考えると、北極に近い高緯度地域を通ることになります。フィンランドはこの最短ルート上に位置しているため、移動時間を短縮できる地理的メリットがあります。この利点を活かし、ヘルシンキからヨーロッパの各都市へ航空路線を放射状に広げることで、ハブ空港としての利便性を高めています。
問8	答え 1 夏季の乾燥に耐えられるよう、皮が厚く根が深く張るオリーブやぶどうなどの果樹栽培が盛んに行われている。	地中海性気候は、夏季に亜熱帯高圧帯の影響を受けることで乾燥し、冬季に温帯低気圧や偏西風の影響で雨が降るといふ、他の温帯気候にはない大きな特徴を持っています。そのため、この地域の農業では夏季の乾燥に強い（耐乾性のある）樹木作物の栽培が伝統的に行われてきました。具体的には、オリーブ、ぶどう、オレンジなどの柑橘類が代表的です。また、食文化においても、これらの農産物から作られるオリーブ油が広く普及しているほか、保存性を高めるために加工された塩漬けのタラなどが活用されています。
問9	答え 1 冬の寒さが厳しい冷帯（亜寒帯）の気候に適応した、マツやモミなどの針葉樹林が広がっている。	タイガは冷帯（亜寒帯）特有の植生であり、耐寒性の強い針葉樹が純林に近い形でどこまでも続くのが特徴です。ロシアの面積の多くを占めるこの森林資源は、木材として重要な産業基盤にもなっています。北極海沿岸のコケ類が生える地域はツンドラ、乾燥帯の草原はステップと呼ばれ、タイガとは区別されます。
問10	答え 1 多くの街の中心部に教会や大聖堂が位置し、それらを中心として都市が形成されている。	ヨーロッパの歴史的な都市では、広場を面してキリスト教の教会が建てられ、人々の交流や祈りの場となってきました。他の選択肢にある礼拝の習慣はイスラム教、牛の神聖視はヒンドゥー教、身分による制限（カースト制度など）は南アジアに見られる特徴であり、ヨーロッパで広く見られるのは教会の存在を中心とした都市構造です。
問11	答え 1 フランスやイタリア、スペインなどで話されている、ラテン系言語のグループ	ヨーロッパでは、地域によって話される言語の系統が概ね分かれています。南ヨーロッパのフランス、イタリア、スペインなどはラテン系言語が主流です。イギリスやドイツなどの北西ヨーロッパはゲルマン系、ロシアやポーランドなどの東ヨーロッパはスラブ系の言語が主に話されています。
問12	答え 1 域内の国境をパスポートなしで自由に通過できるようになり、国を越えた通勤や通学が容易になった。	EUの成立によって加盟国間の国境における検問が原則として廃止され、パスポートなしで国境を通過できるようになったことは、市民の日常生活に大きな影響を与えました。これにより、隣接する国へ仕事や買い物、あるいは学校に通うために日常的に移動することが容易になり、国境の壁が低くなったことがヨーロッパ社会の大きな特徴となっています。関税の廃止は貿易を活発にするためのものであり、個人の移動を制限するものではありません。
問13	答え 1 地中海式農業	地中海沿岸の地域では、夏季に雨が少なく乾燥する「地中海性気候」が広がっています。このため、乾燥に強いオリーブやコルクがし、ぶどう、オレンジなどの果樹栽培が発達しました。一方で、比較的雨の多い冬季には小麦を栽培するという、気候の特色に合わせた合理的な土地利用が行われています。